

▶ 発寒清掃工場更新事業環境影響評価方法書 審議結果概要(1回目審議:令和6年8月22日開催)

は審議会後の回答

No.	委員名	区分	質問・意見等の概要		事業者回答の概要
1	坪田会長	質問 意見	温室効果ガスについて	温室効果ガスについて、直接的な二酸化炭素排出量を測定することに加えて、エネルギー使用量をモニタリングする項目があったと思うが、エネルギーの使用量をなるべく低減するような工夫を何かしているのか。 これだけ地球温暖化が進んでいる中で、一つ一つのエネルギーの使用量をなるべく低減するということが大事かと思しますので、ぜひその点もご配慮いただければと思います。	清掃工場では、焼却廃熱を利用して蒸気を作り、その蒸気から発電した電力を場内利用や売電しております。今回の更新にあたっては、現在主流である蒸気の高温・高圧化により、発電効率を上げて、さらなる廃棄物エネルギーの有効利用を計画しております。
2	奈良委員	意見	エネルギー使用に関すること	高温の熱が大量に出てくると思うが、最近、どんな建物でも熱を出したものをどうやって発電につなげるのか、有効利用をするのかということがメインのお話になることが多い。その前段階として、出た熱をできるだけ無駄にしないよう、焼却炉の断熱や建物自体の断熱についても考えていただきたい。	施設の断熱を考慮しながら、エネルギー消費の少ない建物を建設したいと考えており、高断熱化及び高効率な建築設備の導入によるZEBについても検討しております。
3	奈良委員	質問	電波障害について	新しい建物が建ってから古い建物を解体するというので、両方が建っている時間が結構長くあると思う。その場合の電波障害について、片一方だけのときと違うと思うが、どのように対策するのか。	電波障害については、現地調査を行い、現況を把握いたします。予測では、新工場のみの場合と、現工場と新工場が存在する場合の両方を評価いたします。
4	奈良委員	質問	廃棄物について	撤去建物について、騒音や振動という解体に係るものも出てくるのではないかとと思うが、そのところをどういうふう考えているのか。	今回、解体工事につきましては環境影響評価の対象ではないため、解体工事に係る振動、騒音につきましては、工事の規制基準等を準拠する形で工事を進める予定です。
5	秋山委員	質問	大気質、騒音について	大気質の評価のところ、これは騒音にも関係する部分かと思うのですが、稼働後の交通量の変化が現行とどのように変わるかという評価をするときに、恐らく、現行とかなり変わるの、広域で石狩のごみを発寒清掃工場に運ぶという点かと思ます。その点の変化を評価して盛り込んでいくという考え方でよろしいか。	石狩市、当別町からのごみを受け入れるため、当該市町からの搬出入車両の影響を受ける沿道でも大気質、騒音及び振動の予測を行います。現時点では、具体的なルートが決まっていないため、準備書段階で清掃工場への搬入ルートを検討し、予測に反映いたします。